

減圧弁(SNG型)

1) 概要

現在、発電機・水車メタルの冷却の多くは鉄管より給水後、冷却水ストレーナーを経由した清水を上水槽へ上げたり、消火栓へと使用しています。

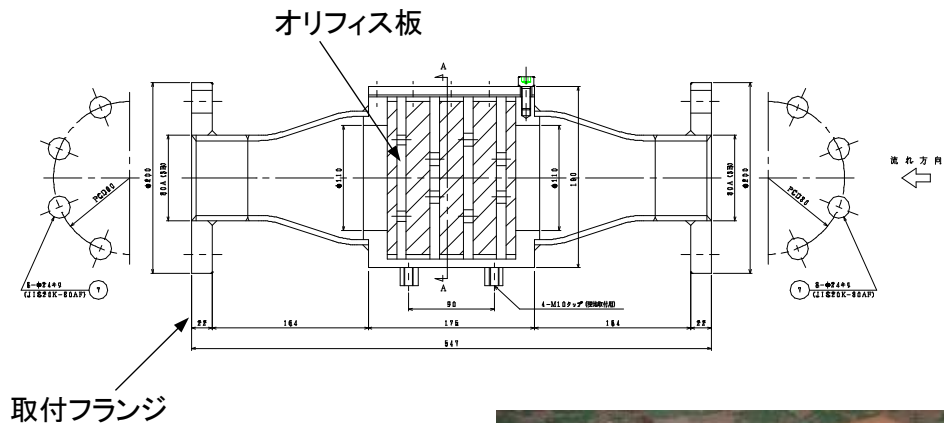
鉄管からの給水は圧力が高いため使用圧力へ減圧する必要があります。

本装置は、管路途中に減圧弁(オリフィス板を数枚)で減圧を行う方法を採用しています。構造が簡単で、上部より容易に分解点検がしやすい構造が特徴です。

2) 構造

- 1) 高圧水を減圧するためステンレス製のオリフィス板を数枚使用します。
- 2) 減圧時の振動に耐えうる強固な構造です。
- 3) 最終減圧を調整用オリフィス板を使用することで減圧の調整が可能です。
- 4) 上蓋を取り外すことで、分解点検が容易にできます。

3) 減圧弁構造図



4) ご注文に際しての照合事項

- | | |
|---------|---------|
| ①給水入口水頭 | (m) |
| ②減圧出口水頭 | (m) |
| ③使用流量 | (l/min) |
| ④既設配管口径 | (A) |



5) 減圧弁取付写真

上蓋を取り外すことにより
分解点検清掃が容易
になっております。

